



# 古都祝奈良2023-2024 開催報告

KOTO  
HOGU  
NARA

ことほぎ  
なら

古都祝奈良

奈良市アートプロジェクト

# 令和5年度事業概要

---

## 奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良(ことほぐなら) 2023-2024」

期間 令和5年9月6日(水)～令和6年3月24日(日)

会場 北部会館市民文化ホール、奈良市音声館、奈良市ならまちセンター、西部公民館 他

主催 奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

協力 各プログラムの協力団体・個人は各プログラム報告において記載  
広報：一般社団法人はなまる

助成 令和5年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業

# 令和5年度事業一覧

---

## アートハブ・プログラム

イベント終了、3月開催

- ・ならまちワンダリング【新規】

## クリエイション・プログラム（メインプログラム）

3月開催

- ・青少年と創る演劇

## ラーニング・プログラム

終了

- ・グリーン・マウンテン・カレッジ
- ・青少年対象演劇ワークショップ
- ・0歳から大人までのパフォーマンスアーツワークショップ

# 各事業報告①

## ならまちワンダリング

奈良市内の空き地や公園、庭先などを、みんなでワンダリング（迷う・さまよう）しながら、新しい表現の萌芽や、市民の学び合いの場を育むプログラム。

### プログラムディレクター

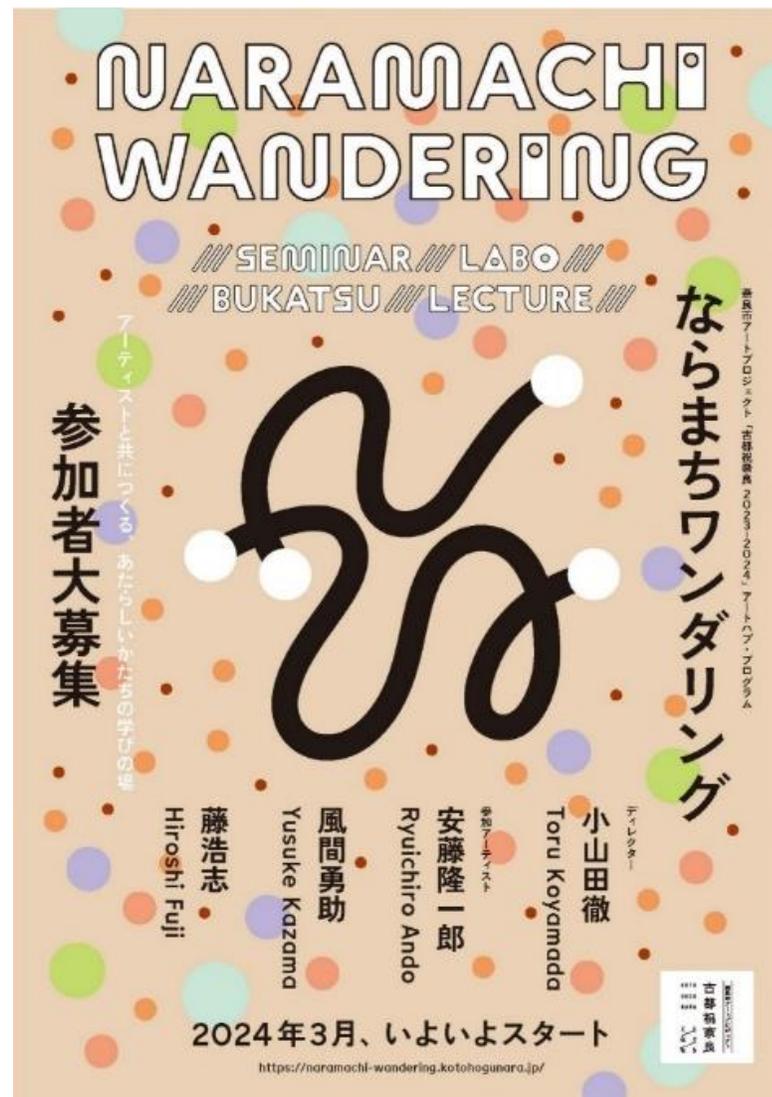
小山田徹（美術家・京都市立芸術大学教授）

### 作家

- ・小山田徹（美術家・京都市立芸術大学教授）
- ・安藤隆一郎（京都市立芸術大学准教授）
- ・風間勇助（奈良県立大学 地域創造学部講師）
- ・藤浩志（秋田公立美術大学教授）

### プログラムディレクション（監修・運営）

一般社団法人CHISOU



# ならまちワンダリング プレイイベント実績

## ○アーティスト合宿：令和5年9月6日（水）～9月8日（金）

ならまちワンダリング作家4名がならまち各所を巡り、ならまちのポテンシャルを探った。

## ○オープントーク

「ならまちワンダリング」の始動に向けて、「奈良の芸術文化を育んできた人」「奈良で活動するクリエイティブなプレイヤー」「これから奈良で何かを興そうと、もぞもぞと思っている人」たちにお声がけし、時空間を共有しながら対話した。

日時：令和5年9月7日（木）17:00～19:00

場所：飯田家（南城戸町）

参加者：16人

## ○公開実験／撮影会

各アーティストによるワークショップを体験しながら、「ならまちワンダリング」について理解を深め、アイデアを広げていくイベント。さらに、公式パンフレットの表紙に使用するイメージ写真を皆さんと共に撮影した。

日時：令和5年11月25日（土）14:00～17:00

場所：南袋町 空き地

参加者：32人



# ■ならまちワンダリング 3月開催

---

## 実施期間

令和6年3月11日（月）～17日（日）10:00～17:00

## 場所

BONCHI（インフォメーション）、ならまちセンター芝生広場、  
Dear Gallery NARA、奈良町にぎわいの家 ほか

## 内容

ならまち界隈の様々な場所でワークショップや展示、演奏会、座談会など  
バラエティ豊かなイベントを行う。

## クロージング

令和6年3月17日（日）18:00～20:00

▶焚火を囲んで交流会

# ■ならまちワンダリング 3月開催

---

## 作家活動

- 小山田 徹 …にぎにぎ&とぎとぎ（春日山原始林を未来へつなぐ会 杉山拓次とコラボ）
- 風間 勇助 …ほんとの話
- 安藤 隆一郎 …案山子投げ、身体探検ツアー（ヨガインストラクター、ダンサー、演出家 飯田惣一郎とコラボ）
- 藤 浩志 …部活動相談室

## 部活動（公募により選ばれた市民の自発的な活動）

- 詩とことばに出会う（ヨコタ 佑輔）
- 即興打楽器合奏部（野田憲一「GROOVE CONNECT（グルーヴ・コネクト）」）
- 奈良の墨・筆・紙でアート！大和茶を飲みながら語らう（中谷優加）
- お直しをきっかけとして口を開く者たちの会（はしもとさゆり）
- ギャラリーの在り方を考えよう（Dear Gallery NARA）
- 本棚ワンダリング（ほんの入り口）
- はたけの読書会（ふくふくファーム）
- カフェときどき鹿、写真部（ともしびデザイン（さとみ））

# 各事業報告②

## 青少年と創る演劇（3月開催）

次代を担う青少年が創作の過程を演劇のプロとともに経験することで、創造する喜びを体験し、その成果を発信するとともに、ふるさと奈良を自分の言葉で語ることのできる人材育成を目的とする。

### プログラムディレクター

田上豊（劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学助教）

作品 『ならのはこぶね』（作・演出 田上豊）

### 期間

令和6年3月9日（土）～23日（土）

会場：音声館、中部公民館

令和6年3月24日（日） 14：00開演

会場：学園前ホール

【稽古】

【公演】

### 出演

奈良の中学生、高校生

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2023 - 2024」  
クリエイション・プログラム

## 青少年と創る演劇

作演出 田上豊 出演 奈良の中学生・高校生

ならのはこぶねは  
次代を担う若者が創作の過程を演劇のプロとともに経験することで、創造する喜びを体験し、ふるさと・奈良を自分の言葉で語ることのできる人材育成をめざす「青少年と創る演劇」。

2016年に東アジア文化都市・奈良で初演、2018年までの3度の公演が好評を博したオリジナル演劇「ならのはこぶね」を、今回5年ぶりに再創作し、世代をわたりした中高生たちとともに再演します。

入場無料 要申込 全席自由

とき 2024年3月24日（日）14時00分開演 上演時間 80分予定  
ところ 奈良市西部会館市民ホール（学園前ホール）

# 各事業報告③

## グリーン・マウンテン・カレッジ

美術家の小山田徹を校長に迎え、参加者とともに対話を繰り返す「学び合いの場」として平成30年度から実施しているプログラム

### 校長

小山田徹（美術家／京都市立芸術大学美術学部教授）

### 期間

令和5年11月11日（土）、12月2日（土）、12月16日（土）

### 会場

奈良市ならまちセンター芝生広場、ギャラリーinishie  
(12月16日 雨天時)

### 協力

奈良若者サポートステーション、一般財団法人奈良市総合財団



# グリーン・マウンテン・カレッジ 各回実績

テーマ：ライフスタイルや働き方をどのように考えるか

日程	ゲスト	参加者数
11月11日（土） 18時－20時	山森 亮 同志社大学経済学部教授、フライブルグ大学ベーシックインカム研究所研究員	32人 ボランティア：5人
12月2日（土） 18時－20時	風間 勇助 奈良県立大学地域創造学部講師	35人 ボランティア：5人
12月16日（土） 18時－20時	杉山 拓次 春日山原始林を未来へつなぐ会事務局長	17人 ボランティア：5人

\* ボランティア協力：奈良若者サポートステーション



# 各事業報告④

## 演劇ワークショップ

— 演劇をはじめとした4つの表現分野を体験！ —

中高生対象のワークショップを公募し、プログラムディレクターにより4企画を進出。  
全4回のオムニバス形式の演劇ワークショップとして実施。

### プログラムディレクター

田上豊（劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学助教）

### 期間

令和5年12月22日（金）～27日（水）

### 会場

奈良市音声館、北部会館市民文化ホール

プログラムディレクター：田上豊  
（劇作家・演出家/田上バル生草/芸術文化観光専門職大学助教）

演劇ワークショップ[全4回]

【対象年齢：12歳～18歳】

演劇をはじめとした

4つの表現分野を体験！

12月



# 参加者募集!

22金  
ワークショップ1  
【演技に挑戦】  
(演技・演劇)  
講師：芹口祐文  
会場：音声館  
14時～16時

23土  
ワークショップ2  
【創作に親しみ】  
(演技・創作)  
講師：新居達也  
会場：音声館  
14時～16時

26火  
ワークショップ3  
【モノ言う身体】  
(身体表現・ダンス)  
講師：飯田惣一郎  
会場：北部会館 市民文化ホール  
14時～16時

27水  
ワークショップ4  
【声をセリフに】  
(戯曲・創作)  
講師：小野小町  
会場：北部会館 市民文化ホール  
18時～20時

応募対象 平成17(2005)年4月2日～平成23(2011)年4月1日生まれの方  
(中学生・高校生の年齢の方)

募集人数 20人程度 ※申込多数の場合は、すべてに参加できる人から優先。



- \* 演劇経験のない人
- \* 身体表現に興味のある人
- \* 何か新しいことに挑戦したい人
- \* 新たな自分を発見したい人
- \* 新しい仲間を見つめたい人



12/10 応募締切

参加無料

※応募にかかる個人情報は、当事業にのみ使用します。  
※ワークショップの風景等を撮影し、市の広報媒体・ホームページ・SNS・チラシ・ポスター・事業報告書等で使用させていただきます場合がございます。あらかじめ、ご了承ください。

KOTO  
HOGU  
NARA  
古都祝奈良

お問い合わせ  
奈良市アートプロジェクト実行委員会事務局（奈良市役所 文化振興課内）  
〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1-1  
TEL: 0742-34-4942 FAX: 0742-34-4728 E-mail: art@city.nara.lg.jp

主催：奈良市アートプロジェクト実行委員会、奈良市

6 第6次  
奈良市文化  
振興計画  
青少年の文化活動  
の支援

# 演劇ワークショップ – 演劇をはじめとした4つの表現分野を体験！ – 実績

日程	タイトル	講師	参加者数
12/22(金) 14時-16時	ワークショップ① 演技に挑戦	芹井祐文 (俳優・演出家・演技講師)	23人
12/23(土) 14時-16時	ワークショップ② 創作に親しむ	新居達也 (演出家・劇作家)	23人
12/26(火) 14時-16時	ワークショップ③ モノ言う身体	飯田惣一郎 (俳優・演出家)	25人
12/27(水) 18時-20時	ワークショップ④ 声をセリフに	小野小町 (劇団 小町座主宰)	22人



## 参加者アンケート集計

- 来場者評価（5段階）  
大変良かった 77% 良かった 22% 未回答1%  
低評価（「どちらともいえない」「あまり良くなかった」「良くなかった」）は回答なし
- このワークショップを誰かに勧めたいと思うかどうか（5段階）  
肯定的86% 否定的14%
- 演劇について興味が高まったか（5段階）  
とても高まった62% 高まった 34% どちらともいえない2%  
低評価（「あまり高まらなかった」「高まらなかった」）は回答なし

## [参加者の意見]

- 自分の殻を破るような講義や、物を見立てる練習が出来てとても楽しかった。見立ては和歌にも通じるものがあると思った。
- 今回は創作活動をしてみて、自分たちで相談して即興で何かをつくることはとても楽しいなと思いました。楽しくてとても勉強になりました。
- ダンスにつながるような内容のワークショップでしたが、「感覚」に重きを置いた内容で、ダンス以外の様々なことに活用できそうでした。すばらしいワークショップをありがとうございました。

# 各事業報告⑤

## 0歳から大人までのパフォーマンスアートワークショップ

あらゆる世代の人が創造する主体として参加できるワークショップを実施。

### プログラムディレクター

田上豊（劇作家・演出家・芸術文化観光専門職大学助教）

### 期間

令和6年1月13日（土）～2月9日（金）

### 会場

奈良市音声館、北部会館市民文化ホール、西部公民館

奈良市アートプロジェクト「古都祝奈良2023-2024」  
ラーニング・プログラム

参加者  
募集中

0歳から大人までの  
パフォーマンスアート  
ワークショップ

1. 殺陣 (たて)  
「強くしなやかに立ち回る殺陣を体験」  
2024年1月13日 (土)  
講師: 福田健二 (俳優・殺陣師)

2. ダンス  
「親子で参加! 赤ちゃん・こどもと踊ろう」  
2024年1月20日 (土)  
講師: 古家優里 (ダンサー・振付家)

3. 戯曲講座  
「写真からお話を書いてみよう」  
2024年1月19日 (金) & 2024年2月9日 (金)  
講師: ごまのはえ (劇作家・演出家)

参加無料 事前申込制

KOTO  
HIGASHI  
NARA  
こよも  
祝奈良

# 0歳から大人までのパフォーマンスアーツワークショップ実績

日程	タイトル	講師	参加者数
1/13(土) 10時半-12時	殺陣／入門編（小学生向け）	福田 健二 （俳優・殺陣師）	17人
1/13(土) 13時半-15時	殺陣／初級編（中学生以上）		12人
1/20(土) 10時-10時45分	ダンス／0 - 1歳と保護者	古家 優里 （ダンサー・振付師）	24人
1/20(土) 11時15-12時	ダンス／2歳以上と保護者		24人
1/19(金) 18時15-20時半	戯曲講座/1回目	小野 小町 （戯曲・創作）	8人
2/9(金) 17時半-20時半	戯曲講座/2回目		6人



# 令和5年度事業 成果と課題

## 成 果

- 令和5年度は、ならまちセンターの改修工事により中心施設が使えない状況ながらも、本事業自体は継続して実施することができ、とくにならまちワンダリングでは市民の自主的な活動とプログラムの結びつきや街中の活動拠点を知ることができた。来年度はリニューアルしたならまちセンターを軸に今年度のつながりをネットワーク化していくことで、さらなる市民主体の創造活動の展開が望める。
- 中高生対象の演劇ワークショップでは、オムニバス形式で4人の講師の特色あるワークショップを体験してもらうことで、演劇や創作活動へのさらなる興味を引き出せたことで、発展プログラムである青少年と創る演劇へ引き続いて参加してくれる人材を確保できた。

## 課 題

- 0歳から大人までのパフォーマンスアーツワークショップでは、定員を大幅に上回る応募があり、特に人気のワークショップでは半数以上が抽選もれするものもあり、参加要望に十分に沿うことができなかった。予算等の制約もある中ではあるが、応募が見込めるものについては追加開催を可能にするような予算配分など検討する必要がある。